

photopos 38

2017.3.20 ~ 2017.4.13

【神秘学ポエジー～風遊戯 第76集】

photo ヴァージョン

photopos926-950

神秘学遊戯団

photopos-926

2017.3.20



水に描かれる
光の文字を追
光の国へ

光の文字は
光の心で
読まれねばならない

光あれ
すると
光があった

花に描かれる
風の文字を追
風の国へ

風の文字は
風の心で
読まれねばならない

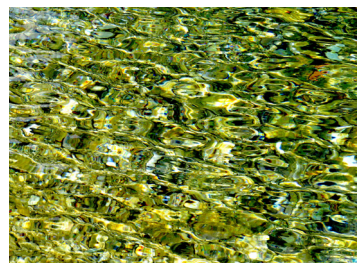
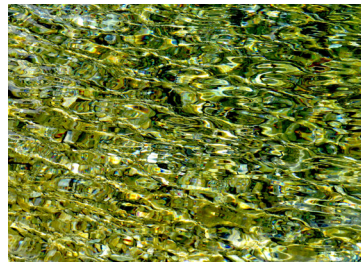
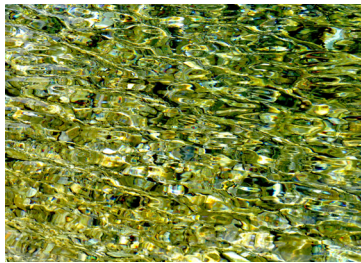
風に吹かれ
さざめく花よ
その香で詠え



* 高知県・仁淀川上流にて

photopos-927

2017.3.21



* 高知県・仁淀川上流にて

王様になんかならなくたって
山や川や野原を行けば
光の宝石はいくらでも見つかるさ

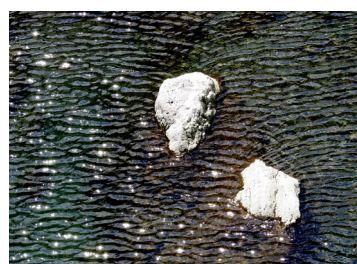
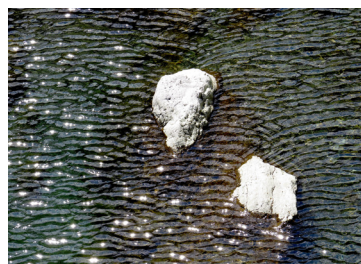
ヒーローになんかならなくたって
山や川や野原を行けば
光の栄冠はいくらでも受けられるさ

アーティストになんかならなくたって
山や川や野原を行けば
光のアートはいくらでも描けるさ

哲学者になんかならなくたって
山や川や野原を行けば
光のロゴスはいくらでも降り注いでいるさ

photopos-928

2017.3.22



*高知県日高村・めだか池にて

とうとうたりたりら
たりりらりらりどう

ちりやたりたりら
たりりらりらりどう

所千代までおわしませ

われらも千秋さむらおう

鶴と亀との齡にて

幸ひ心にまかせたり

とうとうたりたりら

ちりやたりたりら
たりりらりらりどう

鳴るは瀧の水
鳴るは瀧の水
日は照るとも

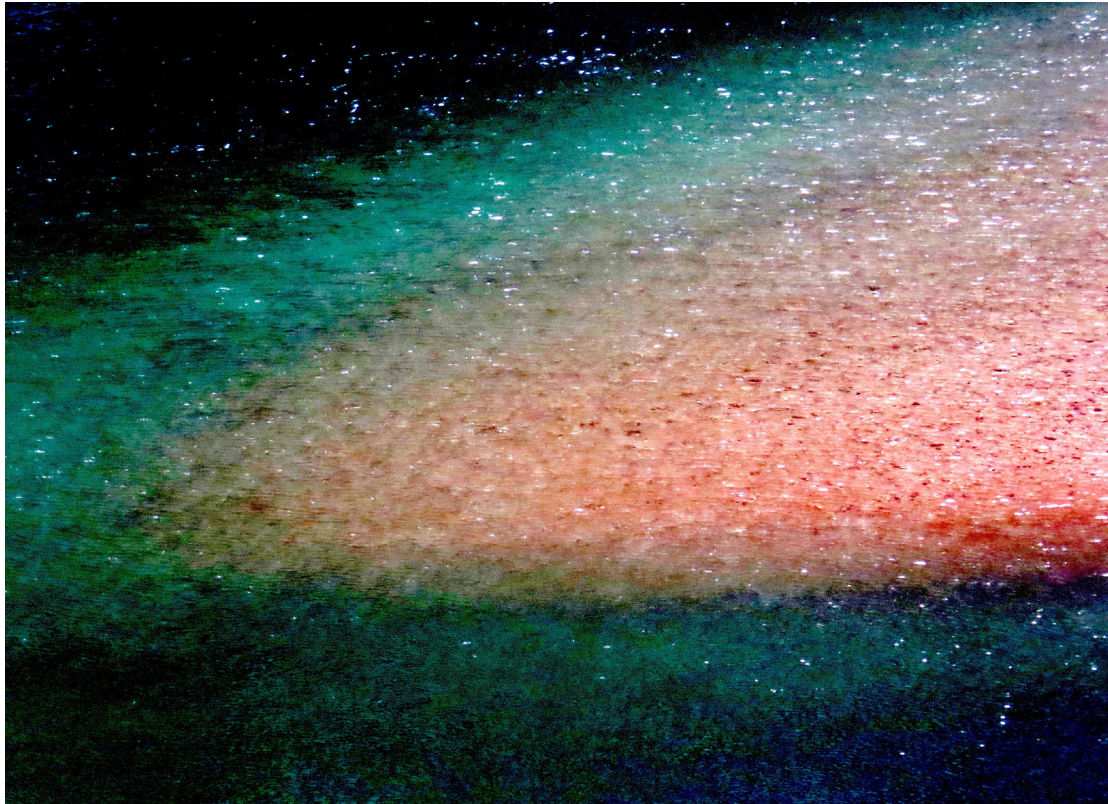
たえずとうたり
ありうとうとう

たえずとうたり
たえずとうたり

*能『翁』の詞章を引いております

photopos-929

2017.3.23



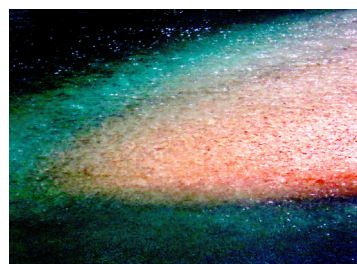
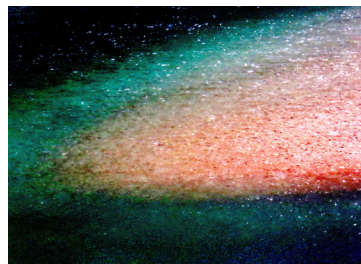
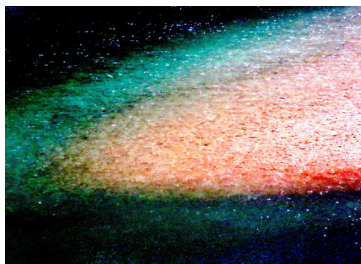
ここは天の国？
ここは川のほとり
光が川を天に変える

これは大地の音楽？
これは水のざわめき
風と水が地籟を響かせる

これは思い出？
これは心のささやき
永遠が心に魔法をかける

* 「This is heaven? This is IOWA.」
(フィールド・オブ・ドリームス)

* 「人籟」「地籟」「天籟」(荘子)



* 高知県・仁淀川上流にて

photopos-930

2017.3.24



変わることを恐れず
変わり続ける勇気よ

ゆれる
風
ゆれる
水
ゆれる
光

ゆれているのは
わたしという心なのだ

風吹かば吹け
雨降らば降れ

変わらないという物語で
自分を守ろうとはしない勇気よ
ゆれている心のままに

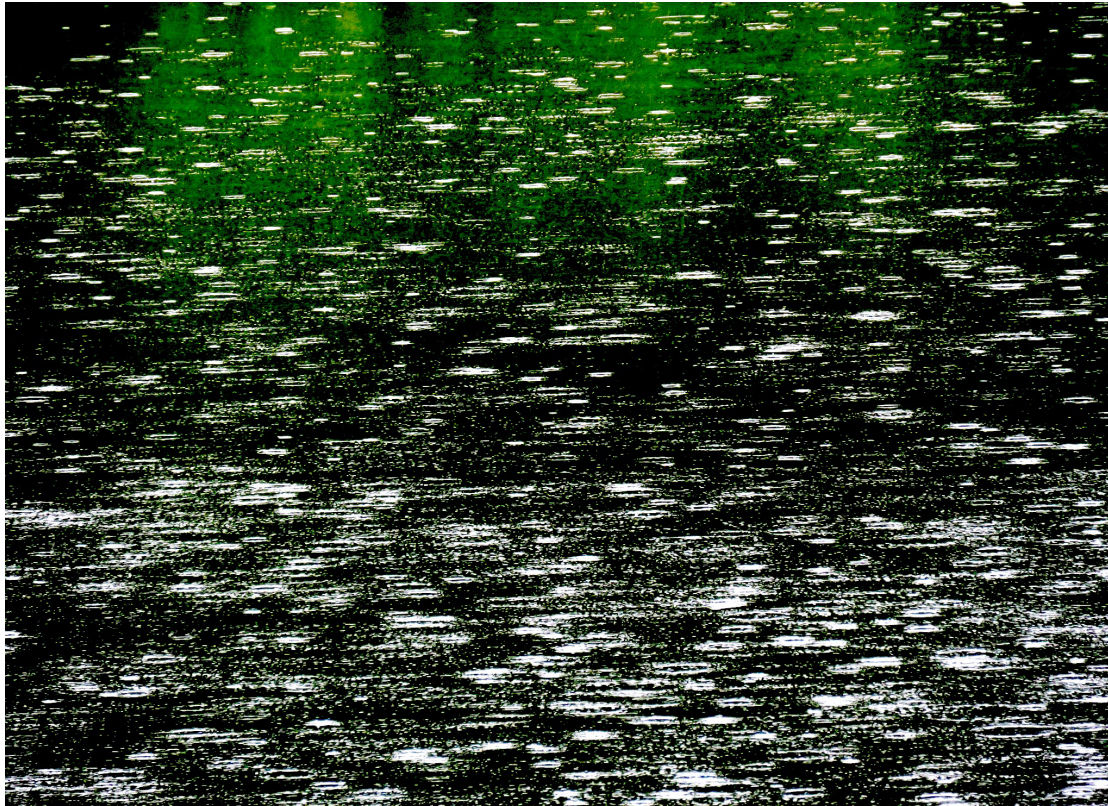


*「有漏路より 無漏路へ帰る 一休み
雨降らば降れ 風吹かば吹け」(一休宗純)

* 高知市・牧野植物園にて

photopos-931

2017.3.25

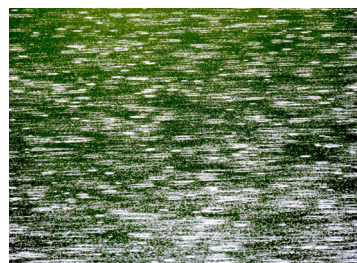
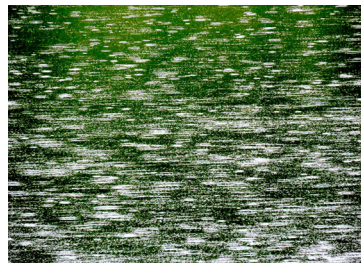
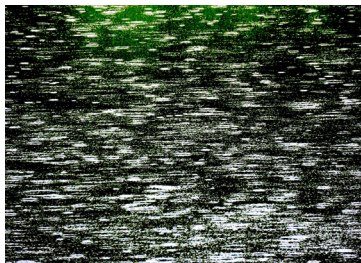


どんなにほしかったものも
手に入れてしまったら
もうほしいものではなくなってしまう

ほんとうにほしいものは
手に入るようなものではないからだ
かたちなきものの魂のように

どんなに知りたかったことも
知ってしまったら
もう知りたいことではなくなってしまう

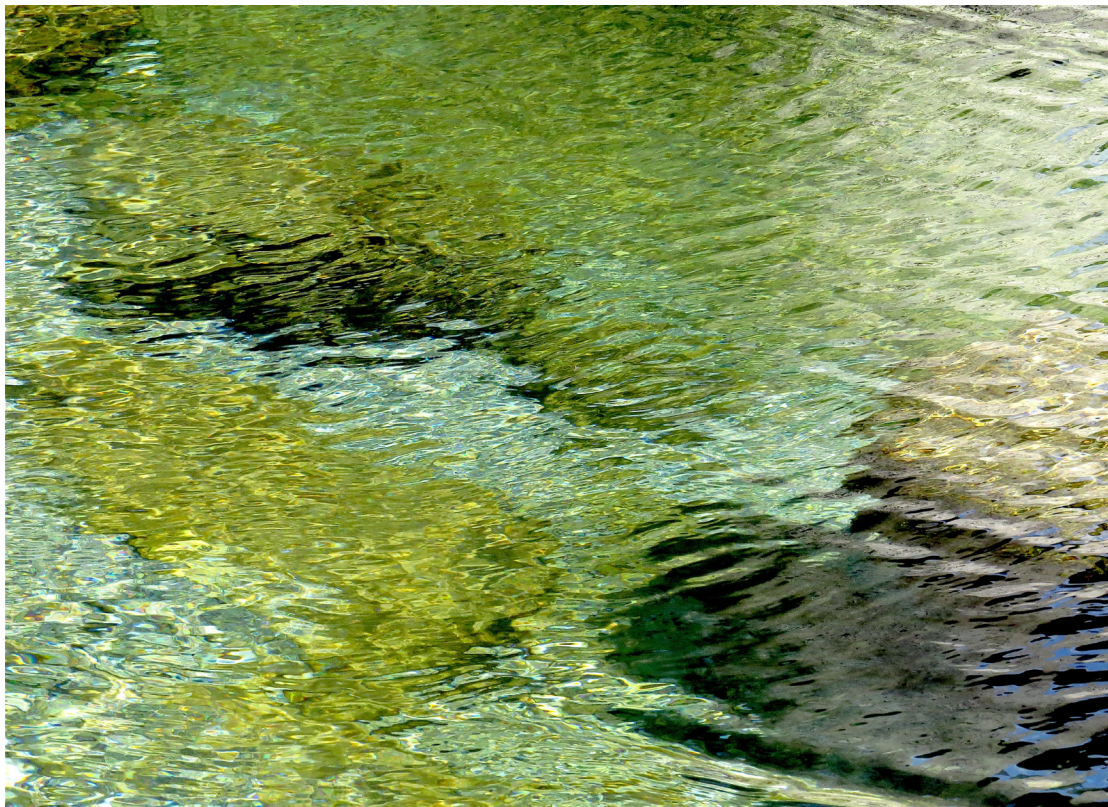
ほんとうに知りたいことは
知ることができるようなものではないからだ
さしだされた叡智の花の香りのように



* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-932

2017.3.26



ゆくりなく
思いは訪れ

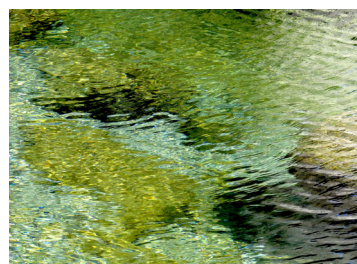
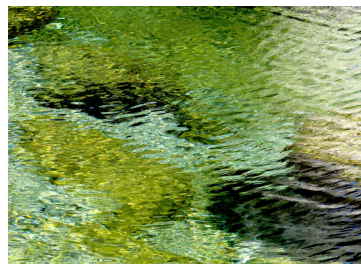
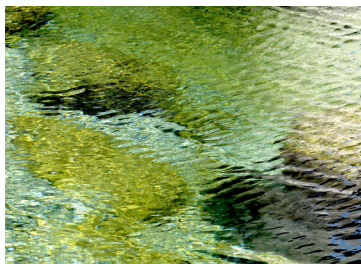
かがよえる
光のなかを

はてもなく
迷い迷いて

はかなきは
我が行方よ

いずこへと
求め求めて

あくがれる
うたかたの夢



* 高知県・仁淀川上流にて

photopos-933

2017.3.27



その顔はなにを語るか
顔の裏には
もうひとつの顔があり
その顔の裏にもまた
さらにもうひとつの顔があるだろう
じぶんでも気づかない顔が

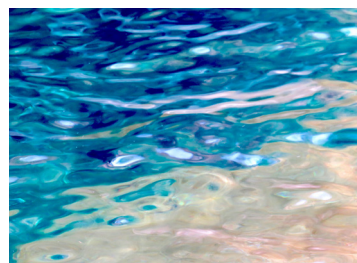
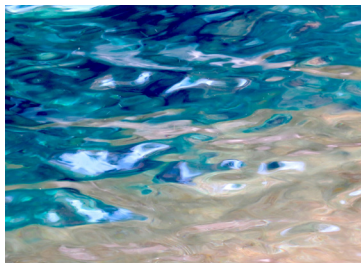
その心はなにを語るか
心の裏には
もうひとつの心があり
その心の奥にもまた
さらにもうひとつの心があるだろう
じぶんでも気づかない心が

その壁はなにを隔てているか
壁の向こうには
もうひとつの壁があり
その壁の向こうにもまた
さらにもうひとつの壁があるだろう
壁の向こうになにがあるのかわからないままに

* 高知県・室戸岬にて

photopos-934

2017.3.28



境目を
超えて
来る者
妖しや

誰そ彼
彼は誰
境目は
魔多し

此岸と
彼岸の
境目で
惑いつ

言葉と
言葉の
境目で
迷いつ

夢と現
境目を
往きつ
戻りつ

我と汝
境目を
超えて
愛しや

* 高知県仁淀川支流枝川川・にこ淵にて

photopos-935

2017.3.29

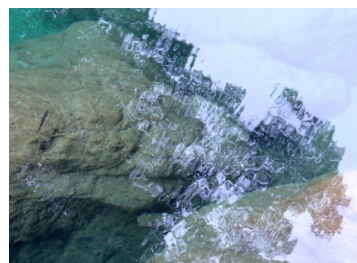


光はきまぐれに
いたずらをして
見えるものを見えなくしたり
見えないものを見るようにしたり
する

心はきまぐれに
いたずらをして
わかることをわからなくしたり
わけられないものをわけたりする

時はきまぐれに
いたずらをして
現在を過去にしたり
現在を未来にしたりする

私はきまぐれに
いたずらをして
愛を憎しみに変えたり
憎しみを愛に変えたりする



* 高知県・仁淀川上流にて

photopos-936

2017.3.30



季節は謎のように
移ってゆくけれど
ぼくの心は
季節のようにには変わらない

秘密の言葉があるんだ
だれも知らない秘密の言葉
それを知りたくて
ぼくは風を歩く

猫は謎のように
戯れているけれど
ぼくの心は
猫のようにには遊べない

秘密の時間があるんだ
だれも知らない秘密の時間
それを知りたくて
ぼくは水を観る



* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-937

2017.3.31



* 高知県・仁淀川上流にて

雨にも
風にも
負けない
丈夫なカラダはあるだろうか

欲はなく
決して怒らず
いつも静かに
笑っていただけるだろうか

毎日どんないのちを
食べているのだろうか
あらゆることを
じぶんのこともふくめて
よく見聞きしわかっているだろうか

東に西に南に北に行って
病気の人や
死にそうな人や
怖がっている人
ケンカをしている人がいたら
大丈夫だ
怖がらなくても
心乱す必要はないと
永遠を語れるだろうか

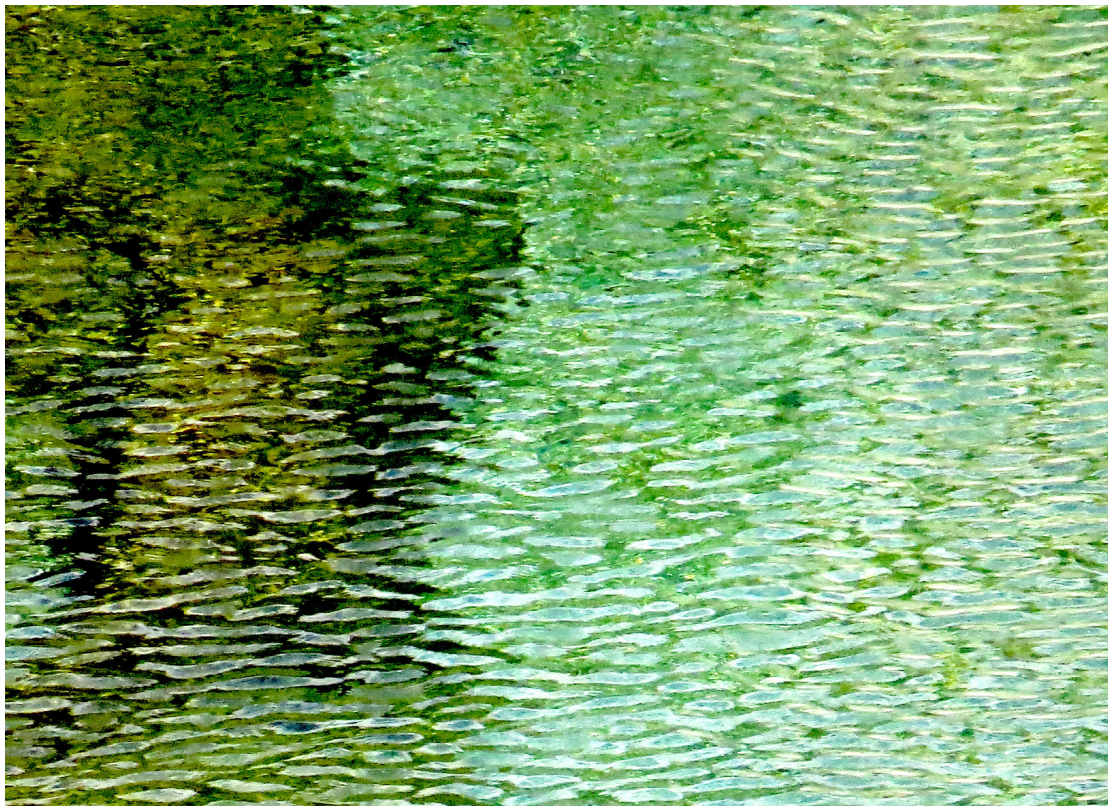
自然が荒れると
いっしょに涙をながし
よろよろとうろたえながら
ほめられることなどないどころか
相手にもされず馬鹿にされたとしても
心穏やかでいられるだろうか

されど
我が日々よ
されど
我が心のくさぐさよ

南無阿弥陀仏
アーメン

photopos-938

2017.4.1



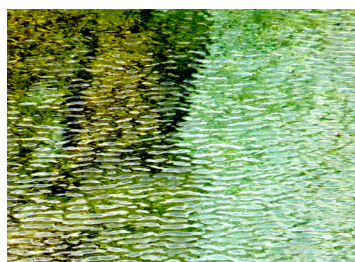
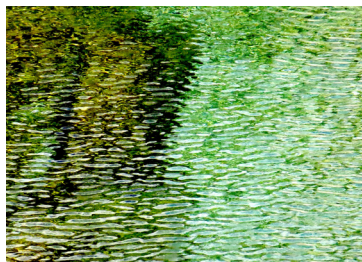
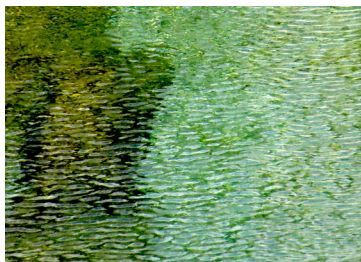
新しい光は
生まれたばかりの色とともに

新しい命は
天と地をめぐる水とともに

新しい心は
自由に吹き抜ける風とともに

新しい声は
解き放たれた言葉とともに

新しい時は
永遠のめぐりとともに



* 高知県・仁淀川上流にて

photopos-939

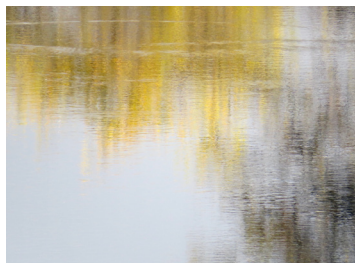
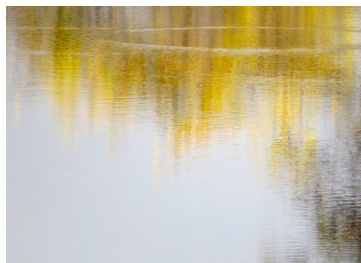
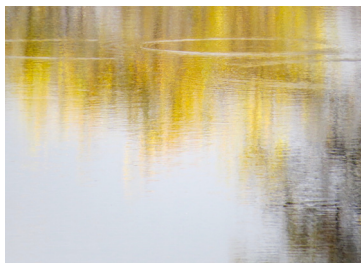
2017.4.2



ひとつ
ふたつと
浮かんでは
消えてゆく
思いの輪

ひとつ
ふたつと
生まれては
死んでゆく
いのちの輪

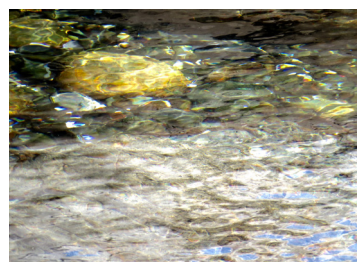
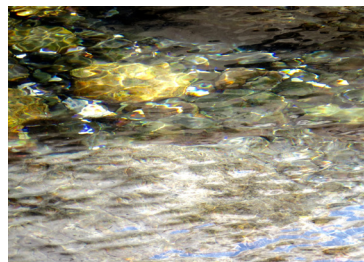
季節は
うつりゆき
されど
花は花のなかに
風は風のなかに
永遠の相をうつして



* 高知県・仁淀川上流にて

photopos-940

2017.4.3



* 高知県・室戸岬にて

ある日
光が変わったんだ
そして
ぼくの心も
変わったはずさ

歩いて来た道と
歩いて行く道が
ときどき交わっている
この場所で
ぼくはいつたい
どんな歌を歌えばいいんだろう

ある日
時が変わったんだ
そして
ぼくの心も
変わったはずさ

覚えている記憶と
隠されてきた記憶が
秘かに交わっている
この場所で
ぼくはいつたい
どんな歌を歌えばいいんだろう

photopos-941

2017.4.4



夕暮れには
夕暮れの言葉を

朝明けには
朝明けの言葉を

水は秘やかに
流れ続けるだろう

無常だとしても
永遠だとしても

友は静かに
手を振るだろう

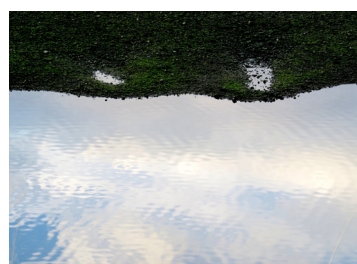
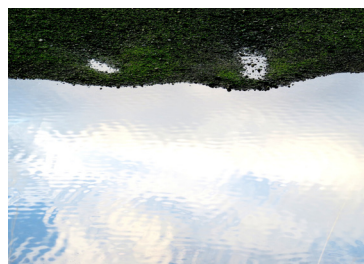
去り行くとしても
訪れ来るとしても



* 愛媛県松山市・重信川河口にて

photopos-942

2017.4.5



*愛媛県松山市・重信川河口にて

不思議なことがあるもんだ
じぶんの目は見えないし
目はじぶんではなにも見ないから
見る力を持つらしい

不思議なことがあるもんだ
ずっとずっと小さな世界では
ことそこがどんなに離れていても
同時にあることができるらしい

不思議なことがあるもんだ
速くなれば速くなるほど
時間はどんどんどんどん
遅くなってしまいうらしい

不思議なことがあるもんだ
分ければ分けるほど
たくさん知れば知るほど
分からなくなることは多くなるらしい

photopos-943

2017.4.6



海は黒いな大きな
心は広く果てしなく
闇の深みを湛えてる

空は黒いな大きな
心は広く果てしなく
天の彼方の声を聞く

雲は黒いな大きな
心は広く果てしなく
雨の言葉に我を知る



*愛媛県松山市・重信川河口にて

photopos-944

2017.4.7

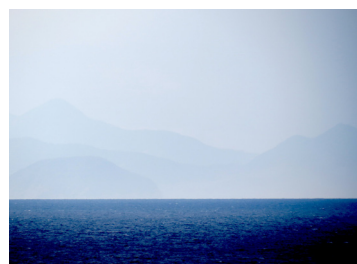
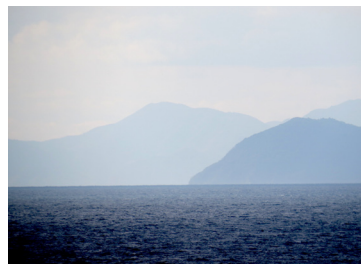
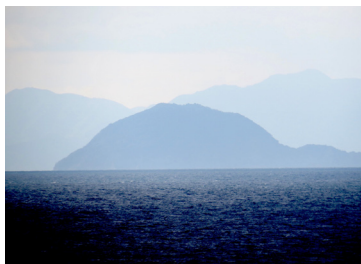


まほろばを
求めても求めても
我がまほろばは
遠く彼方に

されど
まほろばは
我が深き心のなかに

さいわいを
求めても求めても
我がさいわいは
遠く彼方に

されど
さいわいは
我が深き心のなかに



* 愛媛県松山市・重信川河口にて

photopos-945

2017.4.8



遮られた光が
天幕のような雲間から
大地に梯子を架けるように
夕闇の言葉は訪れてくる

光が消え去るのではない
光は天に満ちているのだ
闇になるのではない
光は魂に満ちているからだ

見るものは見よ
秘められた光を見よ
聴くものは聴け
光の言葉を聴け



* 愛媛県松山市・重信川河口にて

photopos-946

2017.4.9



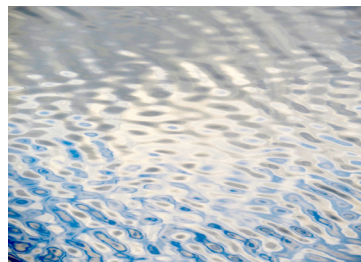
求めなければ
得られないものがあり
求めても
得られないものがある

何を求めているのか
求めればよいのか
ときに人は迷路のなかに置かれる

生きる糧
生きる希望
生を超える永遠

求めるものは
変わってゆくが
求めようとする
そのものもまた変わってゆく

やがてそれはみずからに向かい
みずからを超えるものを求め
そして求めつづけたものと
ともにあったことに気づくことだろう



*愛媛県松山市・重信川河口にて

photopos-947

2017.4.10



ずっと海を
見守っているのさ
人のなかの海もね

凪いでいるときもあれば
荒れ狂うときもある

だから海に祈り
舟を操る人を励まし
天と地を寿ぐ

ずっと見守っているのさ
地を水を火を風を
人が人であり
人を超えてゆけるように



*愛媛県双海町・瀬戸内海を臨む三島神社にて

photopos-948

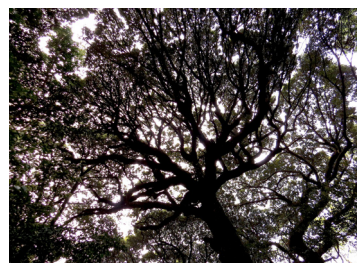
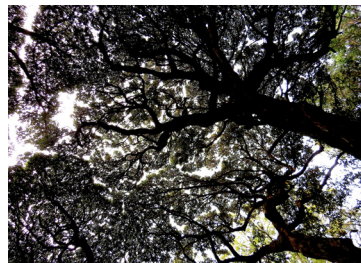
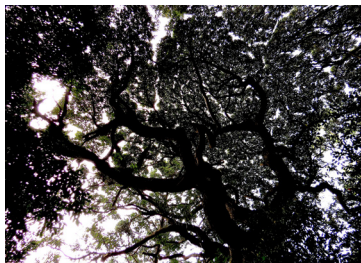
2017.4.11



樹は
大地に根を張り
光へと枝を伸ばし

光は
ロゴスより放たれ
大地を照らし

人は
天より放たれ
地を歩き
天と地を結び



*愛媛県双海町・瀬戸内海を臨む三島神社にて

photopos-949

2017.4.12



夕映え
はるか
心の火照り

祈りの
ときは
静かに過ぎて

光は
やがて
彼方へ還る



* 愛媛県松山市・重信川河口にて

photopos-950

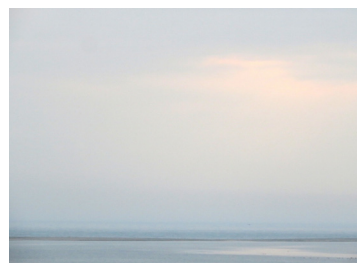
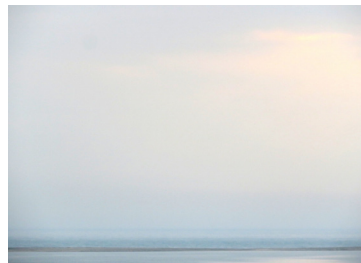
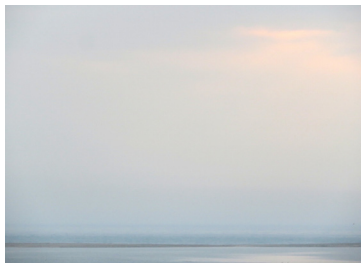
2017.4.13



空は空
光は光
風は風

心の中に
広がるものよ
心の彼方へ
飛び立つものよ

我は空
我は光
我は風



* 愛媛県松山市・重信川河口にて